



HPはこちら

## 2025春闘 JR労働者の本音 増える業務量！上がらない基本給！！

Part  
⑧

- ここ数年で様々なことに取り組むようになり、社員1人ひとりの生産性もかなり向上している。それを基本給の引き上げで還元するべきだ。(関東)
- 会社は「融合だ」「連携だ」と言って仕事をさせているが、社員は言われなくてもみんな頑張っている。基本給を上げなければならない！(上信越)
- 様々な業務を担当し、苦勞している社員のためにもしっかりとベースアップを実施するべきだ！(上信越)
- 仕事が増えているのに基本給が上がらないのはおかしい！(関東)
- 仕事の量は増えるばかり。基本給が上がらなければモチベーションは上がらない。仕事量に見合った基本給でなければいけないと思う。(上信越)
- 兼務をしているが、手当ではなくベースとなる基本給が上がらなければダメだ！(関東)
- 基本給が低いと思う。他の社員から「様々な業務を担っても逆に手取りが減った」という話をよく聞く。手当がなくても基本給だけで生活ができるようにしなくてはダメ。基本給を上げれば超勤、休勤、ボーナスすべてが増える。(上信越)
- インバウンドのお客さまで毎日混雑している。閑散期や平日も「大人の休日倶楽部パス」や「キュンパス」で混雑している。お客さまのご利用が業績につながっている反面、社員は毎月、休日出勤をしており体がキツイ。ベースアップで基本給が上がれば、もっと頑張る気持ちにもなれる。(上信越)
- 社員が少ないから休日出勤ばかり。その分、手取りは増えた感じがするけれど、疲れは倍に感じている。社員の基本給を上げる必要がある！(関東)
- ご利用されるお客さまが増えており、少ない社員数で対応している。これだけ仕事量が増えているのだから、基本給は上がって当然。上がらなければおかしい！(上信越)
- 会社が儲かっているのは「頑張っている社員がいるからだ」ということを経営側は分かっている！(上信越)
- 基本給は低いと思う。これからどんな担務や職種になるか分からない。社員全体の基本給をもっと上げるべきだ！(上信越)

## 働きがいを実感できる基本給改定を実現しよう！